

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学B

教科： 数学 科目： 数学B 単位数： 3 単位  
 対象学年組： 第 2 学年 5 組～ 8 組 選択者  
 教科担当者： （ 松永 ）  
 使用教科書： （ 数研出版 新編 数学B ）  
 教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
A 数列 【知識及び技能】 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めることができるようにする。いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 数列の性質について関心を持ち、いろいろな数列を考察したり、一般項や和を求めたりしようとする。	・数列と一般項 ・等差数列 ・等差数列の和 ・等比数列 ・等比数列の和 ・和の記号Σ	【知識・技能】 等差数列や等比数列、いろいろな数列の一般項や和を求めることができる。和の記号Σの計算をすることができる。 【思考・判断・表現】 与えられた問題から、数列的な規則性を見だし、論理的に解答することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 いろいろな数列に関心を示し、積極的に考察したり、問題を解こうとしたりする。	○	○	○	18
定期考査			○	○	○	1
1 学期 A 数列 【知識及び技能】 漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりできるようにする。数学的帰納法について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用できるようにする。自然数の性質などを見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 数列の性質について関心を持ち、いろいろな数列を考察したり、一般項や和を求めたりしようとする。	・階差数列 ・いろいろな数列の和 ・漸化式 ・数学的帰納法	【知識・技能】 階差数列の一般項を求めることができる。いろいろな数列の和を求めることができる。漸化式で表された数列の一般項を求めることができる。 【思考・判断・表現】 与えられた事象を数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用することができる。等式や不等式、自然数に関する命題について、数学的帰納法を用いて証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 いろいろな数列に関心を示し、積極的に考察したり、問題を解こうとしたりする。	○	○	○	20
定期考査			○	○	○	1

